

地域レベルの官民連携見える化調査一覧

自治体名	タイトル	区分（Ⅰ.会議体、Ⅱ.登録・認証制度、Ⅲ.拠点の設置、Ⅳ.協定締結、Ⅴ.その他）
1 岩手県	岩手県奥州市協働まちづくりプロジェクトネコもSDGs	Ⅳ、Ⅴ
2 宮城県東松島市	KDDIグループとの地域活性化を目的とした連携に関する協定	Ⅳ
3 宮城県東松島市	東北大学大学院環境科学研究科との連携協定	Ⅳ
4 埼玉県さいたま市	さいたま市CSRチャレンジ企業認証制度	Ⅱ
5 埼玉県さいたま市	東日本連携・創生フォーラム	Ⅰ
6 埼玉県さいたま市	CSパートナーズ	Ⅱ
7 東京都日野市	SDGs推進拠点の設置、SDGs推進に係る包括連携協定の締結	Ⅲ、Ⅳ
8 神奈川県	かながわSDGsパートナー制度	Ⅱ
9 神奈川県	SDGs推進に向けた企業との協定締結	Ⅳ
10 神奈川県	UNDP（国連開発計画）とのSDGs推進に向けた連携	Ⅴ
11 石川県小松市	コマニー株式会社と小松市とのSDGs推進に関するパートナー協定	Ⅳ
12 福井県鯖江市	鯖江市SDGsウィーク開催	Ⅴ
13 福井県鯖江市	鯖江市と三井住友海上火災株式会社との包括連携協定	Ⅳ
14 福井県鯖江市	鯖江市と福井県民生活協同組合との包括連携協定	Ⅳ
15 長野県	長野県SDGs推進企業登録制度	Ⅱ
16 静岡県浜松市	浜松市SDGs推進プラットフォーム	Ⅰ
17 静岡県御殿場市	人工衛星に係る校正検証及び衛星データ利用等に係る連携協力に関する基本協定	Ⅳ
18 静岡県御殿場市	KDDI株式会社との包括連携協定	Ⅳ
19 静岡県御殿場市	御殿場市・地上調査のためのUAV（無人航空機）運用研究会先端技術開発等に関する包括連携協定	Ⅳ
20 静岡県御殿場市	御殿場市エコガーデンシティ推進協議会	Ⅰ
21 静岡県御殿場市	株式会社セブーン・イレブンジャパンとのSDGsへの取組に関する包括連携協定	Ⅳ
22 静岡県御殿場市	先端技術開発等に係る包括的連携に関する協定	Ⅳ
23 愛知県尾張旭市	地域活性化包括連携協定	Ⅳ
24 三重県いなべ市	官民連携いなべSDGs懇談会	Ⅰ
25 滋賀県	滋賀×SDGs交流会	Ⅴ
26 滋賀県	滋賀SDGs×イノベーションハブ	Ⅲ
27 大阪府大阪市東成区	ひがしなり企業区民連携フォーラム	Ⅰ
28 大阪府富田林市	「富田林版SDGs取組方針」の策定	Ⅴ
29 鳥取県	とっとりSDGs推進会議（官民連携プラットフォーム）	Ⅰ
30 島根県益田市	SDGs達成に向けた「益田モデル」の普及	Ⅲ
31 岡山県真庭市	真庭SDGsパートナー制度・真庭SDGs円卓会議	Ⅰ、Ⅱ
32 山口県宇部市	宇部SDGs推進センター、宇部SDGsフレンズ	Ⅱ、Ⅲ
33 香川県	SDGsパネル展	Ⅴ
34 愛媛県松山市	国際協力・国際理解推進実行委員会	Ⅴ
35 福岡県北九州市	北九州SDGsクラブ	Ⅰ

取組名（岩手県奥州市協働まちづくりプロジェクト ネコもSDGs）

主催：一般社団法人くまお

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

協働まちづくりプロジェクトとして、岩手を元気に！をテーマにネコをきっかけに命の大切さや尊さを伝え、ヒトもネコも暮らしやすいまちづくりとして環境保全や、生物多様性の話を一般の方に広く普及する取り組み。

3.活動開始時期

2019年1月～スタート

4.取組規模（会員数）

4団体

5.取組の詳細

「I. 会議体」：2019年1月開催

第1弾 猫ノ図書館2周年記念イベント（くまおの岩手奥州場所）

主催者：奥州市立胆沢図書館 共催：岩手県奥州保健所

協力：一般社団法人くまお

協賛：リコージャパン株式会社岩手支社、

アニコム損害保険株式会社

参加者の概要、一般市民の方に向けSNSで発信しているくまおの飼い主が保健所の獣医師と猫の適正飼育についてのトークイベントを行い、SDGsを猫のくまおが説明するパネル展開催。

第2弾 2019年8月31日開催 県南ねこ会議（奥州くまま部屋）主催：県南広域振興局 岩手奥州保健所
後援：奥州市立胆沢図書館、リコージャパン株式会社岩手支社 一般社団法人くまお

：岩手県とリコージャパン岩手支社 2019年5月に包括連携協定締結。

6.取組の活動予定・スケジュール

今後も引き続き協働まちづくりプロジェクトとして、情報交換を行い、岩手、奥州の活性化に向けた取り組みを検討中。

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://cat-press.com/cat-event/oshu-kumakuma-beya>

<http://current.ndl.go.jp/node/37225>

KDDIグループとの地域活性化を目的とした連携に関する協定

主催：東松島市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

相互連携と協働による活動を推進し、双方の資源を有効に活用することにより、SDGs未来都市に関する事業を推進し地域活性化を図ることを目的とする。

3.活動開始時期

締結日：平成30年11月30日
協定期間：締結日から1年間（その後双方異議無ければ1年間ごと自動更新）

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

➤ 協定背景

2011年の東日本大震災以降、復興事業と地方創生を進めていく中で、市とKDDIグループは、これまで「東松島市へのKDDIグループ社員出向」「スマート漁業」「農園事業」の取り組みを行ってきた。2018年6月に市がSDGs未来都市として選定を受け、復興の先の未来のまちづくりを見据え、持続可能なまちづくりに取り組んでいく中で、今後は双方の資源を有効に活用することで、相互連携と協働による活動をより一層推進し、SDGs未来都市として市が進める持続可能なまちづくりの推進による地域の活性化を目的として、協定を締結したもの。

➤ 協定内容

（1）スマート漁業に関する事項

漁業者が活用しやすいスマートブイの開発、漁獲量予測の精度向上、シロサケ以外の魚種へ展開する実証等に取り組む。

（2）スマート農業に関する事項

通信技術を活用した農作物の収量および食味の向上に関する実証を行い、地域の障害者および高齢者の雇用を持続的にしていく。

6.取組の活動予定・スケジュール

スマート漁業：浜市地区にて地元漁業者との連携のもと、スマートブイの実証作業を継続。

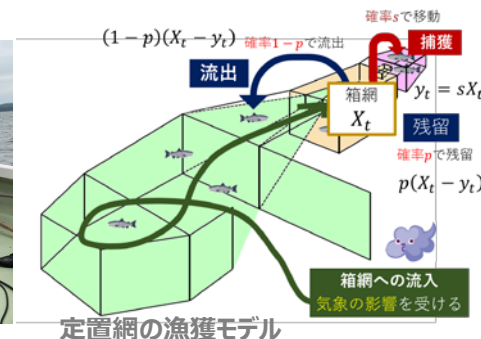
スマート農業：市内野蒜地区の「幸満つる郷KDDIエボルバ野蒜」の圃場にて、IT/IoTを活用した実証実験を継続。

7.関連するゴール

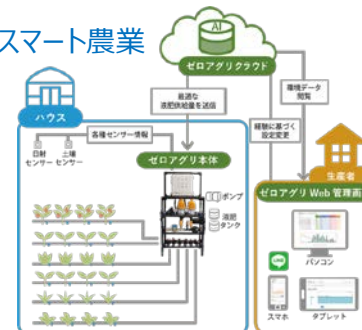


8.取組イメージ

スマート漁業



スマート農業



関連URL

<https://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/22,17287,71,html>

東北大学大学院環境科学研究科との連携協定

主催：東松島市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

それぞれの資源や機能等を活用し、SDGsや再生可能エネルギー、環境関係の取組を効果的に進めることを目的とする。

3.活動開始時期

締結日：平成31年2月1日
協定期間：締結日から3年間（その後双方異議無ければ1年間ごと自動更新）

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

➤ 協定背景

東北大学 大学院 環境科学研究科は、地域の中でエネルギーや資源、伝統文化を有効に活用し、産業振興および環境教育の充実を通じて、地域の特性を活かした持続可能な社会を構築するため、これまで様々な自治体と連携を図ってきた。本市は、2018年6月にSDGs未来都市として選定を受け、復興の完結を目指して事業の進展を加速していくとともに、持続可能なまちづくりの確立に向けて取り組んでいく中で、それぞれの資源や機能等の活用を図りながら、連携協力して事業を展開し、市の地域社会におけるSDGs、エネルギー事業及び環境学習教育の充実を図ることを目的として、協定を締結したものの。

➤ 協定内容

- (1) SDGsに係る事業実施に関すること
- (2) 再生可能エネルギーに係る事業実施に関すること
- (3) 市民などを対象とする環境学習教育に関すること
- (4) 講演会、研究会等の共同開催に関すること

6.取組の活動予定・スケジュール

- 東北大学主催のシンポジウムでの事例発表
- 津波堆積物の調査による防災教育の展開検討
- 地中熱の活用による公共施設等の省エネ化検討
- リサイクル技術等の技術展開による国際支援事業の検討

7.関連するゴール



8.取組イメージ



平成31年1月25日に開催した「第1回東北SDGs未来都市サミット」にて、東北大学大学院環境科学研究科長 土屋教授より基調報告・パネルディスカッションのコーディネートを行っていました。

関連URL

<http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/21,710,69,138,html>

さいたま市CSRチャレンジ企業認証制度

主催：さいたま市

1.取組タイプ

	I	会議体
○	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

自らの事業活動の維持・拡大を図りつつ、社会的健全性を両立させる企業経営（CSR：企業の社会的責任）の推進を図ろうとする意欲のある市内中小企業を、さいたま市が「さいたま市CSRチャレンジ企業」として認証する制度。認証企業におけるCSR経営のさらなる向上支援を通じて、地域経済の持続可能な発展や本市産業のイメージアップ、さらに社会課題の解決促進を図る。

3.活動開始時期

平成24年度（企業の認証第1期）

4.取組規模（会員数）

111社（認証企業数
R1.11.13時点）

5.取組の詳細

- 市独自に60のチェック項目を設定し、以下の基準に達する企業を認証。
 - 企業存続の条件となる「守るCSR」40項目の60%以上
 - 企業価値の創造につながる「伸ばすCSR」20項目の30%以上
- チェック項目は「財務管理」「組織統治」「労働管理」「環境配慮」「地域貢献」等、地域に永く根差す企業になる上で重要な要素で構成。
- 認証企業のメリットとして、CSRを経営に生かすためのセミナーの受講、認証企業同士が相互交流と切磋琢磨する場（CSRコミュニティ）への加入、専門家派遣による課題解決やビジネスマッチング機会の提供等の支援メニューが活用できる。
- 令和元年6月には、CSRに取り組むことがSDGsの達成に繋がるという立場から「CSR経営推進マニュアル～CSRはSDGsの方法論～」を発行し、ホームページにて無料公開中。

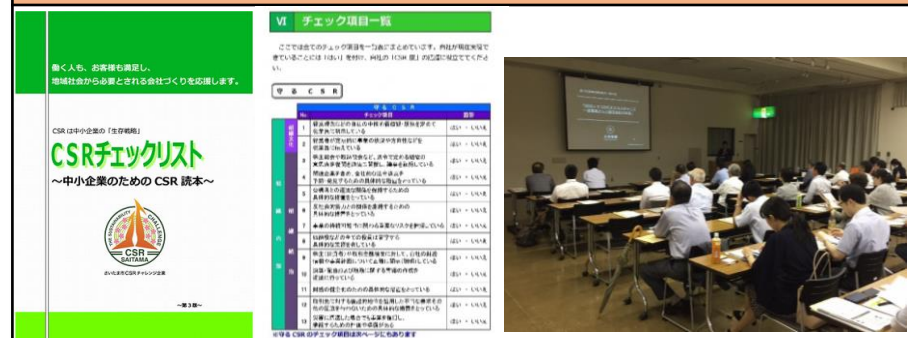
6.取組の活動予定・スケジュール

- 令和元年10月11日 令和元年度第2回CSRコミュニティ（認証企業5社によるCSR・SDGsの取組み事例発表）
- 令和元年11月22日 令和元年度認証企業 認証式
- 令和元年12月～1月 エグゼクティブセミナー（経営者自ら制度の趣旨を確認しCSRに関する知見と視野を深める）
- 令和2年6月～8月 令和2年度認証企業 募集

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://www.city.saitama.jp/005/002/010/002/p063489.html>

東日本連携・創生フォーラム

主催：さいたま市

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

さいたま市では、持続的な成長・発展に向け、「東日本の玄関口」、「交通の結節点」といった本市の強みや優位性を活かし、東日本各都市と連携し、交流人口の拡大を図るため、東日本の都市の首長参加のもと東日本連携・創生フォーラムを開催し、東日本の地域活性化及び地方創生を推進している。

3.活動開始時期

平成27年度

4.取組規模(会員数)

25自治体
(R1.9.20時点)

5.取組の詳細

平成30年度の取組について

- 主催者はさいたま市。会議の参加者は取組に賛同する東日本の25都市首長、その他国の関係機関、商工会議所、観光協会、報道機関など総勢約150名が参加。
- 平成30度は「オリンピックを題材とした連携事業」と「スポーツコンテンツを利用した連携事業」について検討し、オリンピックを見据えた中長期的な取組について意見交換を行った。
- 北海道、東北、北陸、上越、など6新幹線が通る大宮駅を擁する交通の結節点という拠点性を生かし、東日本各地の方々にさいたまをうまく利用し、相互交流と連携の場として活用してほしい。特に平成31年3月にオープンした「まるまるひがしにほん」を、東日本の「ヒト・モノ・情報」を集積し、情報発信する拠点として活用してもらい、東日本全体の地域活性化と地方創生を成し遂げる。

6.取組の活動予定・スケジュール

東日本連携EXPOの開催

- 令和元年10月31日 第5回東日本連携・創生フォーラム
(東日本都市の首長による会議)
- 令和元年10月31日～11月4日 シティプロモーションイベント
(まるまるひがしにほんで東日本各都市のシティプロモーションを開催)

7.関連するゴール



8.取組イメージ

 東日本連携・創生フォーラム



関連URL

<https://www.city.saitama.jp/006/007/020/010/001/p062809.html>

CSパートナーズ

主催：さいたま市

1.取組タイプ

	I	会議体
○	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

住みやすいと思う人の割合＝市民満足度(CS)と定め、市民満足度90%と以上とする「CS90運動」を展開しています。このCS90運動に賛同している企業・団体を「CSパートナーズ」と名付け、様々な施策の包括的な支援や環境に対する取組などSDGsの視点も取り入れた市民協働を積極的に展開していきます。

3.活動開始時期

平成30年度

4.取組規模(会員数)

30団体
(平成31年4月1日現在)

5.取組の詳細

毎年実施している「さいたま市民意識調査」では、さいたま市を「住みやすい」「どちらかと言えば住みやすい」と感じる人の割合が年々着実に増加し、令和元年度市民意識調査の中間報告では、84.4%となりました。

本市では平成27年度より、市民満足度(CS)を2020年までに90%以上にする「さいたま市CS90運動」を全庁一丸となって取り組んでいます。CS90の達成には、市民と行政だけの関わりだけではなく、普段から地域活動、まちづくり、スポーツ等を通して市民と繋がりが深い企業・団体の力が不可欠です。

そこで、平成30年度より、「さいたま市CS90運動」の趣旨に賛同し、ともに取り組んでいただいている企業・団体の皆様を「CSパートナーズ」と名付け、官民学一体となって「住みやすいまち・住み続けたいまち」を目指していくこととなりました。

6.取組の活動予定・スケジュール

令和元年度末までに、CSパートナーズ加入団体を50団体まで増やします。

7.関連するゴール



8.取組イメージ



もっと身近に、
もっとしあわせに

「さいたま市CS90運動」
ロゴマーク

平成30年11月14日にCS90運動共同宣言式を開催しました。



関連URL

<https://www.city.saitama.jp/006/007/002/008/p062519.html>

SDGs推進拠点の設置、SDGs推進に係る包括連携協定の締結

主催：日野市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

- Ⅲ. 産官学民金の連係による持続的な社会課題への取組に向けた、対話環境の醸成、関係の構築
Ⅳ. Ⅲを裏付ける関係の確認及び明示と、地域における具体的な活動の実践。

3.活動開始時期

- Ⅲ. 平成27年11月
(SDGs拠点の位置づけは2019年7月から)
Ⅳ. 協定締結日 2019年9月17日

4.取組規模(会員数)

- Ⅲ. 施設利用登録者数3127名
※H30年12月時点
利用目的がSDGs関連かどうかは未計測

5.取組の詳細

- ▶「Ⅲ. 拠点の設置」：名称を「産業連携センターPlanT」とし、社会課題をテーマとした官民連携の対話の場、創業支援、その他、仕事として社会課題、生活上の課題等の解決への取組みを誘発する場として、平成27年度に設置、SDGs未来都市の選定を機に、SDGsの普及、活動拠点として位置づけ、セミナー、リビングラボの活動、ワークショップ等のイベントを実施。今年の9月24日に開催したセミナーでは企業人から個人、小学校教師等80名弱が参加している。
- ▶「Ⅳ. 協定締結」：様々な社会課題をテーマに4大学・9企業との連携協定を締結している。令和元年9月17日に初めてSDGsの推進を目的とした協定をコニカミノルタ(株)と締結。これまで数年にわたり介護・医療などを中心とした社会課題の解決とイノベーション創出に向けて連携してきたが、日野市のSDGs未来都市選定を機に、幅広くSDGsのゴール達成に向けた協定を締結。(協定は2023年度までを期間とし、両者の合意により延長可能としている)

6.取組の活動予定・スケジュール

- ▶「Ⅰ. 会議体」：年度内(概ね1月頃を想定)※既存の枠組みを再構成
- ▶「Ⅱ. 登録・認証制度」：年度内(※任意の取組意思表示のみ)
- ▶「Ⅲ. 拠点の設置」：既に設置済み
- ▶「Ⅳ. 協定締結」：年度内に2～3社との協定を想定

7.関連するゴール



8.取組イメージ

Ⅲ SDGs推進拠点の設置

多摩平の森産業連携センターPlanT

高校と連携したSDGs探究学習プログラム

パートナーシップを基軸に据えて、ローカルから取り組む
複雑で多様な地域課題に取り組むには従来の枠を超えたパートナーシップが不可欠。ローカルな取組と一緒に始めよう！

社会課題やイノベーションをテーマとした官民連携イベントの開催



Ⅳ協定締結

SDGs推進に係る包括連携協定を締結



大坪日野市長とコニカミノルタ(株)山名CEO



産官民の連携様々な現場で対話を通じた課題解決方法について協議



乳がんの啓発イベントで連携 災害時の水利で協力 スポーツを通じた次世代育成

関連URL

<https://www.city.hino.lg.jp/shisei/keikaku/senyraku/1012037/1012109.html>

<https://www.city.hino.lg.jp/shisei/keikaku/senyraku/kigyo/index.html>

令和元年度「SDGs地域レベルの官民連携見える化調査」

かながわSDGsパートナー制度

主催：神奈川県

1.取組タイプ

I	会議体
○ II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

SDGsの推進に資する事業を展開している企業等の取組事例を県が募集・登録・発信するとともに、県と企業等が連携してSDGsの普及啓発活動に取り組む。

3.活動開始時期

第1期登録：2019年4月23日
第2期登録：2019年10月3日

4.取組規模(会員数)

137団体

5.取組の詳細

(取組詳細)

- ・SDGs推進に資する事業を展開している県内企業等が県に応募
- ・県がSDGs推進の目的、取組内容等を審査のうえ「かながわSDGsパートナー」として登録。登録期間は2年間（更新可）
- ・登録企業等の取組事例を県HP等で発信
- ・セミナー等様々な機会や媒体を通じて登録企業等と県が連携してSDGsの推進をPR（登録企業等のメリット）
- ・県の中小企業制度融資による支援
- ・県による対外的な広報・アピール（登録、バッジ・ステッカー・ロゴ使用）
- ・「かながわSDGsパートナーシップミーティング」を通じた市町村、企業、大学等とのマッチング支援

6.取組の活動予定・スケジュール

- ・第3期以降の募集
- ・かながわSDGsパートナーシップミーティングの随時開催
- ・「かながわSDGsパートナー・アクションミーティング」開催（2020年2月）

7.関連するゴール



8.取組イメージ

(かながわSDGsパートナーシップミーティング)

かながわSDGsパートナー間のネットワークを構築し、SDGsの推進に向けた異業種交流やマッチング等を行い、社会課題の解決に向けた新たなビジネスを創出する機会の場を提供。

第1回は、2019年7月31日に、参加者57名に対し、基調講演及びワークショップを実施。



関連URL

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs/partner.html>

SDGs推進に向けた企業との協定締結

主催：神奈川県

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

SDGs未来都市である神奈川県では、SDGsの推進に向けて、多様なステークホルダーと連携して取り組んでおり、「SDGs推進に係る連携と協力に関する協定」を締結。また、A Iを活用して水問題に挑戦する東大発ベンチャーの(株)W O T Aや、石灰石を主成分とする新素材「L I M E X」を開発・製造・販売する(株)T B Mとも協定を締結。

3.活動開始時期

2018年11月～

4.取組規模(会員数)

6団体

5.取組の詳細

【SDGs推進協定】

SDGsの推進に向けて、(株)横浜銀行や京浜急行電鉄(株)、(株)セブン&アイホールディングス、小田急電鉄(株)と協定を締結し、SDGsの普及啓発やSDGsの推進に向けた社会的投資の促進、未病を改善する取組などで連携・協力

【SDGs推進に向けた企業との協定】

・(株)W O T Aとの連携

A Iを活用して水問題に挑戦する東大発ベンチャーの(株)W O T Aとの連携し、災害用シャワーパッケージの実証導入とともに、水処理施設へのA I導入の可能性について検討

・(株)T B Mとの連携

石油由来原料の使用を大幅に削減し、石灰石を主成分とする新素材「L I M E X」を開発・製造・販売する(株)T B Mとの連携し、企業とのパートナーシップコンソーシアムを設立

6.取組の活動予定・スケジュール

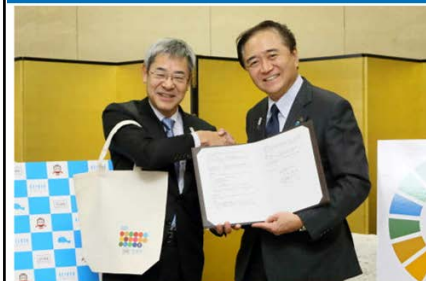
- ・融資を通じた地域企業のSDGs経営の支援や、エネルギーの地産地消に向けた連携
- ・海の豊かさを守る大切さを呼びかけるため、ビーチクリーン活動での協力
- ・災害用シャワーパッケージの情報発信・体験支援・マッチング等
- ・「かながわアップサイクルコンソーシアム」を通じた「かながわプラごみゼロ宣言」の推進やSDGsの実現

7.関連するゴール



8.取組イメージ

Agreement for SDGs promotion



関連URL

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs/2030.html>

UNDP（国連開発計画）とのSDGs推進に向けた連携

主催：神奈川県

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○ V	その他

2.取組目的・概要

神奈川県と国連開発計画（UNDP）は、2019年8月、SDGsの推進に向けて連携趣意書（Statement of Intent、SOI）を締結し、連携してSDGsのローカライゼーションの取組を神奈川から推進し、国内外に発信していく。

3.活動開始時期

2019年8月29日～

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

- 神奈川県と国連開発計画（UNDP）は、SDGsの推進に向けて、SOI（Statement of Intent）、いわゆる連携趣意書を締結
- 地方自治体とUNDPとのSOIへの署名は、国内初。SOIには、「Vibrant Inochi（いのち輝く）」と「ME-BYO」が明記。この締結を契機に、UNDPと連携して、SDGsのローカライゼーションの取組を神奈川から推進し、国内外に発信
- SOIに基づく具体的な活動内容
 - ・県とUNDPによる共同タスクフォースを立ち上げ、SDGsアクションフェスティバルや、ME-BYOインデックスなどSDGs関連の取組について、定期的な対話、協議および情報交換を実施
 - ・神奈川県及びその他自治体における企業やアカデミア、NPOなどの技術とサービスを、UNDPのネットワークを生かして海外諸国が抱える課題・ニーズと結びつけ、事業機会の創出につなげる など

6.取組の活動予定・スケジュール

- 国連総会中のSDGsサイドイベントで県の取組を世界へ発信（令和元年9月26日）
- ニューヨークの国連本部で開催される「SDGサミット」において、SOIに基づき、UNDPから招聘を受け、UNDPが主催するサイドイベントに登壇し、本県のSDGsの取組や、「SDGs全国フォーラム2019」で発表した「SDGs日本モデル」宣言を発信するとともに、各国の登壇者とSDGsのローカライゼーションやネットワーキングについて議論。

7.関連するゴール



8.取組イメージ



○SOI締結式

出席者：アヒム・シュタイナーUNDP総裁、黒岩 祐治神奈川県知事

参加者：450名、会場：パシフィコ横浜

関連URL

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/undp-partnership2.html>

令和元年度「SDGs地域レベルの官民連携見える化調査」

コマニー株式会社と小松市とのSDGs推進に関するパートナー協定

主催：小松市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

地域及び世界を取り巻く課題や社会変化に対し、両者が有する多様な強みや資源を活かして、SDGsが目指すより良い未来を創るため、共に行動し、協力することを目的とする。

3.活動開始時期

令和元年6月27日

4.取組規模(会員数)

—

5.取組の詳細

背景

コマニーは近年「SDGs宣言」を表明し、耐火性や耐震性に優れた製品づくりやSDGsと結びついたビジネスモデルの制定など、持続可能な社会づくりに向けた事業活動を積極的に展開している。

小松市は2016年3月「ふるさとこまつを未来につなぐ条例～PASS THE BATON」を制定し、多様なステークホルダーとの連携で、まちづくり・ひとづくりを進め、2019年7月には「SDGs未来都市」に選定された。

両者のこうした事業展開は、SDGsの推進を体現する取組であり、相互の取組姿勢とSDGsの更なる推進について意見が一致したため、パートナー協定を締結した。

協定に基づく活動

小松市のSDGs未来都市に係る取組の紹介
(2019.8.7 UE-Cafe / 2019.8.24 コマフェス2019)

6.取組の活動予定・スケジュール

今後の活動

- ・SDGsの研修会の開催
- ・SDGs普及啓発イベントの開催
- ・子どもたちなど次世代の育成

7.関連するゴール



8.取組イメージ

コマフェス2019（2019.8.24）における取組



SDGsトークセッション



小松市におけるSDGsの取組に関する紹介ブース

関連URL

https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/kokusai_keieiseisaku/kikakuchousei/sdgs_future_city.html

鯖江市SDGsウィーク開催

主催：鯖江市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○ V	その他

2.取組目的・概要

SDGsの情報発信や普及啓発を目的に6月1日から6月9日をSDGsウィークに設定。期間中のイベントでSDGsのPRを実施したほか、SDGsに取り組む企業や団体のパネル展、図書館にSDGs関連図書コーナーなどを開催。

3.活動開始時期

令和元年6月1日から令和元年6月9日

4.取組規模(会員数)

5.取組の詳細

【背景】

SDGsの普及啓発のため、SDGsウィークを設定し、各イベントでの普及活動およびSDGsに関する取り組みをまとめて開催。

【活動内容】

- ・期間中に開催された「めがねのまちさばえ感謝祭（6/1・8・9）」では、吹奏楽部の中高生が「ジェンダー平等の実現」のイメージカラーであるオレンジ色のTシャツを着用・演奏し、SDGsのPRを行った。
- ・男女共同参画を推進している団体「夢みらいWe」がインポスター症候群に関するアンケートを実施。
- ・地元のTV局やCATVとタイアップし、番組でSDGsを取り上げた。
- ・SDGsに取り組む企業や団体（計28団体）の活動をパネルで紹介。SDGsウィーク期間中のイベントでパネル展を開催。
- ・パネル展と同時にSDGsクイズを開催し、イベントを盛り上げるとともに普及啓発を行った。他の期間は市役所のエントランスホールでパネルを展示した。
- ・期間中、市内の図書館「文化の館」にSDGs関連図書コーナーを設置。

6.取組の活動予定・スケジュール

- ・来年度以降もSDGsウィークを継続して実施予定

7.関連するゴール



8.取組イメージ



統一したオレンジのTシャツで演奏



インポスター症候群アンケート



パネル展



SDGs関連図書コーナー

関連URL

<https://www.city.sabae.fukui.jp/>

鯖江市と三井住友海上火災株式会社との包括連携協定

主催：鯖江市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

SDG s の情報発信や普及啓発、中堅・中小企業へのSDG s 推進を中心に、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、地域の一層の活性化や市民サービスの向上を図るため包括連携協定を締結。

3.活動開始時期

令和元年 6 月 6 日

4.取組規模(会員数)

5.取組の詳細

【協定背景】

互いが有する人的・物的資源を市政の課題やニーズに有効に活用し「持続可能なまちさばえ」を目指していく。

【協定内容】

- (1) SDG s の情報発信・普及啓発に関すること。
- (2) 女性活躍推進に関すること。
- (3) 環境保全に関すること
- (4) 地域産業振興に関すること
- (5) 安全安心に関すること
- (6) シェアリングエコノミーに関すること
- (7) その他地域社会の活性化および市民サービス向上に関すること

【具体的な活動内容】

- ・SDG s の推進のため、中堅・中小企業向けSDG s 取組セミナーを開催(6/20)
- ・女性活躍社会へ向けた共同取組として、インポスター症候群のアンケートを実施中

6.取組の活動予定・スケジュール

- ・シニアドライバー向け安全運転プログラム（R1.9月～11月）安全ドライブを今後も続けていくためのセミナー、運転シミュレータ体験、認知機能診断、ドライブレコーダーの貸し出し等を実施。
- ・協定内容に基づいて、随時、研修や共同事業を実施。

7.関連するゴール



8.取組イメージ



令和元年 6 月 6 日
鯖江市と三井住友海上開催株式会社包括連携協定調印式

関連URL

<https://www.city.sabae.fukui.jp/>

鯖江市と福井県民生活協同組合との包括連携協定

主催：鯖江市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

SDG s の推進や女性活躍推進などSDG s 達成に向けて、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、地域の一層の活性化や市民サービスの向上を図るため包括連携協定を締結。

3.活動開始時期

令和元年9月30日

4.取組規模(会員数)

5.取組の詳細

【協定背景】

子育てサポート、地域に根差した福祉サービスを進めている福井県民生活協同組合と連携し、女性活躍推進をはじめとするSDG s 達成に向けた取り組みを進めていく。

【協定内容】

- (1) SDG s の推進に関する事
- (2) 女性活躍推進に関する事
- (3) 高齢者福祉に関する事
- (4) 子供の健全育成に関する事
- (5) 地域福祉に関する事
- (6) エシカル消費に関する事
- (7) 環境保全に関する事
- (8) 地域産業の振興・支援に関する事
- (9) シティプロモーションに関する事
- (10) 地域見守りに関する事
- (11) 災害時対応支援に関する事
- (12) その他、地域の活性化および市民サービスの向上に関する事

6.取組の活動予定・スケジュール

- ・鯖江市が実施する女性活躍推進プロジェクト「わたしの日」への参加、健康増進の推進、小型家電回収協力など
- ・協定内容に基づいて、随時、共同事業や各取り組みを実施。

7.関連するゴール



8.取組イメージ

包括連携協定調印式



令和元年9月30日

鯖江市と福井県民生活協同組合包括連携協定調印式

関連URL

<https://www.city.sabae.fukui.jp/>

長野県SDGs推進企業登録制度

主催：長野県

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

【目的】

SDGsを意識した企業経営の重要性を県内企業等に浸透し、SDGsの達成に貢献する企業を増やす

【概要】

企業活動等を通じて、SDGsの達成に意欲的に取り組む県内企業等を登録・PRする県独自の制度

3.活動開始時期

平成31年（2019年）4月25日

4.取組規模（会員数）

80社
（令和元年7月時点）

5.取組の詳細

1 登録対象者

長野県内に本社又は支社等を有し、県内における事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主

2 実施内容

次の2つの要件を満たすことにより、登録

要件1：SDGs達成に向けた方針と重点的な取組を宣言

要件2：県が設定した42の項目について具体的な取組を記載

3 登録のメリット

- ・県ホームページ等での企業等の取組の紹介・PR
- ・登録マークの使用

4 期待される効果

ブランドイメージ向上、人材の確保・育成、販路拡大、経営リスクマネジメント
社会課題の解決やフェアトレード・エシカル消費などの促進につながる新商品・サービスの開発等

5 実績

登録企業数：80社（令和元年7月末時点）

6.取組の活動予定・スケジュール

平成31.4.26 制度創設

令和元.5.21 申請受付開始

7月 第1期登録企業の登録・公表（80社）

10月 第2期登録企業の登録・公表

令和2.1月 第3期登録企業の登録・公表

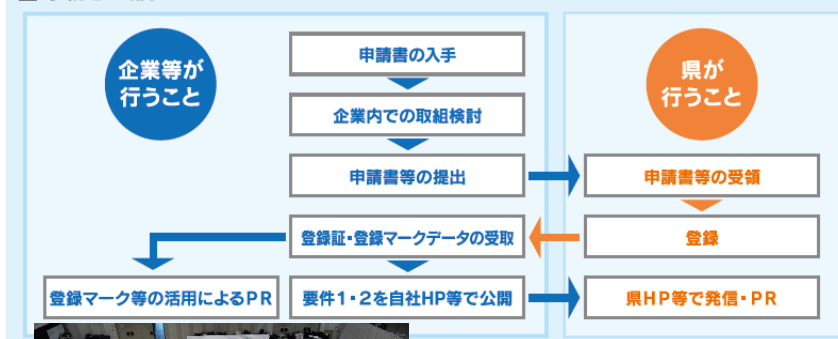
4月 第4期登録企業の登録・公表

7.関連するゴール



8.取組イメージ

■ 手続きの流れ



第1期登録企業交付式の様子
（令和元年7月26日）



県独自に作成した登録マーク

関連URL

<https://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/tourokuseido.html>

浜松市SDGs推進プラットフォーム

主催：浜松市

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

浜松市におけるSDGsの達成に向けた、企業・団体・個人による幅広い活動の推進のため、SDGsに関連する活動に取り組んでいる、又は関心を持っている会員同士の交流や情報交換を通じて、各々の活動を活性化させることを目的として、市が主体となり「浜松市SDGs推進プラットフォーム」を設立

3.活動開始時期

2019年5月29日

4.取組規模(会員数)

128
(企業77、団体24、個人27)
※2019年9月30日現在

5.取組の詳細

本会の目的に賛同する企業、団体、個人の会員で構成された組織である

※団体は、法人格の有無を問わない

※事業所等の所在地、居住地の要件はなし

○目的を達成するための事業

(1) 会員の交流及び連携に資する事業

(2) SDGsの達成に資する情報発信等の事業

(3) 会員の登録・管理等の事業

(4) 前各号に掲げるもののほか目的の達成に必要なと認める事業

【以下、主な取組】

○市ホームページにおいて、プラットフォームのページを開設

・会員募集、会員情報の公開等

○SDGsに関するイベント情報等を会員にメール配信

○会員企業との意見交換

・会員企業から、本市との連携について提案を受け、意見交換

○シンポジウムの開催(2019.8.27)

・有識者による講演などを通して参加者の理解を深めるとともに、協働して取り組む意義について考え、本市における活動を促進することを目的に、「SDGs未来都市・浜松 パートナシップシンポジウム」を開催

・プラットフォーム設立セレモニー、基調講演、パネルディスカッションを行うとともに、展示・交流会場も設け、98名の会員を含む182名が参加

6.取組の活動予定・スケジュール

・会員の活動内容の共有・発信

・会員間の意見交換・事例紹介の場の提供

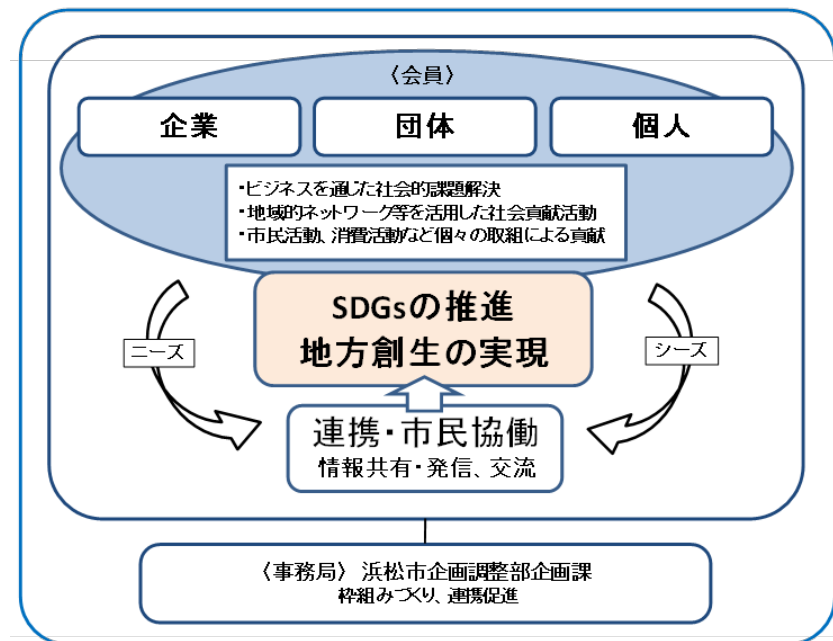
・講演会、勉強会、交流会等の開催

・シンポジウム等の開催

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/sdgs/platform.html>

人工衛星に係る校正検証及び衛星データ利用等に係る連携協力に関する基本協定

主催：御殿場市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

御殿場市及びJAXAが、人工衛星に係る校正検証及び御殿場市における地球観測衛星データの利用等について相互に連携協力して取り組むことにより、人工衛星の品質確保及び地域の行政業務等に資することを目的とした、協定を締結した。

3.活動開始時期

協定締結日：平成29年12月7日
協定有効期間：協定締結の日からALOS-4運用終了の1年後の日まで

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

【連携及び協力事項】

1.人工衛星（地球観測技術衛星）運用・開発のための校正検証

JAXAは御殿場市から人工衛星に搭載するセンサーの校正検証用のコーナーリフレクター用地を無償で借り受け、現衛星「だいち2号」（ALOS-2）の運用及び次期先進レーダ衛星（ALOS-4）の開発・運用のための校正検証を行う。

平成30年11月 人工衛星校正検証用コーナーリフレクター設置

2.人工衛星観測データの行政利用促進

本市は人工衛星搭載の合成開口レーダーで観測した地表変動などの解析データについて、JAXAの助言を受けて行政業務に活用する。

3.宇宙科学技術教育の推進

市民や青少年に対する宇宙教育活動等を推進する。

平成30年10月 ごてんば宇宙・未来まつり開催

6.取組の活動予定・スケジュール

4月下旬

～11月下旬 人工衛星校正検証用コーナーリフレクターについては、市で見回りを行い、管理を実施

10月22日 だいち2号にうつろう（人工衛星の観測データに文字を作って写す）

7.関連するゴール



8.取組イメージ



協定締結の様子



ごてんば宇宙・未来まつりの様子



人工衛星校正検証用コーナーリフレクター
（富士山御殿場口新五合目駐車場）

関連URL

<https://www.city.gotemba.shizuoka.jp/gyousei/g-2/g-2-4/6251.html>

KDDI 株式会社との包括連携協定

主催：御殿場市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

御殿場市、KDDIが保有するそれぞれの資源を有効に活用し、同市の地域が抱えるさまざまな課題解決のための取り組みを協働で検討し、地域を活性化するため包括的連携協定を締結した。

3.活動開始時期

協定締結日：平成30年11月15日
協定有効期間：協定締結の日から1年間（ただし、有効期間満了する日の1か月前までに、いずれからも書面による通知がない場合は自動的に1年間更新するものとする。）

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

【連携事項】

- （1）富士登山の安心・安全への取り組み事項。
例：遭難者救助を目的とした、ドローン山岳救助支援システムの実証実験
- （2）観光振興・産業振興に関する事項。
例：富士山観光に関する取組（6.取組の活動予定・スケジュール参照）
- （3）災害時の連携に関する事項。
- （4）先進的な情報通信技術を利用した教育に関する事項。
- （5）地域社会の活性化に関する事項。

6.取組の活動予定・スケジュール

7月～9月 富士山観光に関する以下の4つのコンテンツについて連携して取組を実施

- 1.富士山山小屋でのau PAYの利用ができるよう整備
- 2.気象情報と登山の快適度について情報提供
- 3.駐車場混雑状況について情報提供
- 4.タクシー車内における利便性向上を目的とした翻訳機の導入と観光情報配信の実証実験

7.関連するゴール



8.取組イメージ



協定締結の様子



山岳救助用ドローン



タクシー車内の翻訳機及び観光情報を配信するタブレット端末を利用する外国人

関連URL

御殿場市・地上調査のためのUAV（無人航空機）運用研究会先端技術開発等に関する包括連携協定

主催：御殿場市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

御殿場市と地上調査のためのUAV運用研究会が、無人航空機活用に係る連携した取り組みを展開することにより、先端技術の研究開発やまちづくりの進展に資するため、協定を締結した。

3.活動開始時期

協定締結日：平成29年11月27日
協定有効期間：協定締結の日から1年間。
ただし、書面により特段の申し出がない限り更新される。

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

【連携及び協力事項】

- （1）空間情報計測に係る先端技術開発等の産業振興及び学術振興に関すること。
- （2）空間情報計測に係る総合的な研究開発拠点の運営に関すること。
- （3）森林資源の定量的測定など自然環境の保全や地球温暖化対策に関すること。
- （4）科学教育及び環境教育の推進に関すること。
- （5）景観の保全及び緑化の推進に関すること。
- （6）農業及び林業の振興に関すること。
- （7）防災及び減災に関すること。
- （8）その他目的を達成するために必要なこと。

6.取組の活動予定・スケジュール

随時

ASITE（アジト）という実証実験サイトにて空間情報計測に係る実証を行う。

次年度

STEAM教育・普及啓発業務の実施（宇宙の学校）

7.関連するゴール



8.取組イメージ



協定締結時の様子



宇宙の学校開催時の様子



バックパックライダーでの測量



総合防災訓練協力時の様子

関連URL

御殿場市エコガーデンシティ推進協議会

主催：御殿場市

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

世界遺産富士山の麓にふさわしい、優れた環境と景観の形成と産業・経済振興が好循環するまちの実現を目指して、産学官金連携した取組を推進していくもの

3.活動開始時期

平成29年7月～

4.取組規模(会員数)

委員 24団体
オブザーバー 11団体

5.取組の詳細

会長：御殿場市商工会長 副会長：御殿場市企画部長
委員は市内に拠点を有する企業、団体や市民団体
年2回程度協議会を開催し、委員やオブザーバーと連携した、下記各プロジェクトの進捗状況等の報告と、委員、オブザーバー同士の意見交換等を行っている。

1. 箱根山系の保全と活用
2. 富士山桜いっぱいまちづくり
3. 家・庭・コモンスペースの創造によるコンパクト・ガーデンシティ化
4. ハイブリッド車用充電リサイクル
5. バイオマス利活用推進
6. スマートファシリティ普及促進
7. マイクロ水力発電普及促進
8. 御殿場型エコファーム
9. ドローン等利活用による環境保全・防災等の推進
10. 水素ステーションの誘致

6.取組の活動予定・スケジュール

2月 第6回御殿場市エコガーデンシティ推進協議会（予定）
以後毎年2回程度（7月頃と2月頃）協議会を開催予定

7.関連するゴール



8.取組イメージ



協議会の様子



プロジェクト2 富士山桜いっぱいまちづくり



←プロジェクト9
ドローン等利活用による環境保全・
防災等の推進
(実証研究でドローンを利用して作成
した三次元モデル)

関連URL

<https://www.city.gotemba.lg.jp/gyousei/g-2/g-2-4/5709.html>

株式会社セブン-イレブンジャパンとのSDGsへの取組に関する包括連携協定

主催：御殿場市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

御殿場市と株式会社セブン-イレブンジャパンは、SDG s への取組を通じ、御殿場市の一層の活性化と市民サービスの向上に資するため協定を締結した。）

3.活動開始時期

協定締結日：令和元年9月27日
協定有効期間：協定締結の日から1年間（ただし、有効期間満了する日の1か月前までに、いずれからも書面による通知がない場合は自動的に1年間更新するものとする。

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

【連携事項】

- （1）子育て支援及び青少年の健全育成に関すること
- （2）地域防災に関すること
- （3）防犯、安全・安心なまちづくりに関すること
- （4）産業、観光の振興に関すること
- （5）雇用促進に関すること
- （6）高齢者支援に関すること
- （7）健康増進、食育に関すること
- （8）環境対策、資源のリサイクルに関すること
- （9）地域社会の活性化、住民サービスの向上に関すること
- （10）地方創生の推進に関すること

6.取組の活動予定・スケジュール

- ①市内店舗へのサイクルラック設置 2020年4月～
市内店舗にサイクルラックを設置し、自転車利用を促進することで、オリンピックの機運醸成と市民の健康増進を図る。
- ②“かけこみ110番の家”や“みくりや安心だねっと”への登録 2019年10月～
事件に巻き込まれそうになった青少年の緊急避難場所や高齢者の徘徊等の捜索情報ネットワークに市内店舗が登録し、住み続けられるまちづくりに寄与する。
- ③大雪などの際の作業スペース等の提供 随時

7.関連するゴール



8.取組イメージ



協定締結の様子



包括連携協定書

関連URL

先端技術開発等に係る包括的連携に関する協定

主催：御殿場市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

御殿場市と株式会社リコーが、相互の人的・知的資源を活用し、連携した取り組みを展開することによりまちづくりの進展に資するため、協定を締結した。

3.活動開始時期

協定締結日：平成29年9月13日
協定有効期間：協定締結の日から1年間。
ただし、書面により特段の申し出がない限り更新される。

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

【連携事項】

- (1) 先端技術開発など産業の振興や科学教育の推進に関すること
- (2) 自然環境の保全や環境教育の推進に関すること
- (3) 再生可能エネルギーの普及や省資源の推進など地球温暖化対策に関すること
- (4) 景観の改善と緑化の推進に関すること
- (5) 農業振興や農産物の地産地消促進及び販路拡大に関すること
- (6) 観光交流の振興に関すること
- (7) シティプロモーションや移住定住促進に関すること

6.取組の活動予定・スケジュール

- ・概ね毎月1度定例会を開催し、相互の状況報告及び連携内容を確認。
- ・開発中の試作機を市庁舎内に設置し、実証実験を開始予定。（時期未定）
- ・市内イベントにて科学教育に関する出展を予定。

7.関連するゴール



8.取組イメージ



協定締結時の様子



バイオマスボイラー視察受け入れ



マイクロ水力発電実証実験



ECO & SDGs アクション宣言

関連URL

地域活性化包括連携協定

主催：尾張旭市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
○ IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

株式会社イトーヨーカ堂及び株式会社セブン-イレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定事項に基づき、相互連携を強化し、具体的な取組の推進からSDG s への貢献を目指す。

3.活動開始時期

締結式：令和元年 8 月 2 1 日（水）

4.取組規模（会員数）

—

5.取組の詳細

協定内容

- (1) 健康づくりの推進に関すること
- (2) 子育て支援の推進に関すること
- (3) 高齢者・障がい者福祉の推進に関すること
- (4) 総合的な教育連携の推進に関すること
- (5) 安全で安心なまちづくりの推進に関すること
- (6) 循環型社会の形成及び地球にやさしい生活の推進に関すること
- (7) 地域産業の振興に関すること
- (8) にぎわいの創出とまちへの愛着意識の向上に関すること
- (9) S D G s の普及啓発及び達成に向けた取組に関すること
- (10) その他、地域の活性化、市民サービスの向上に関すること

6.取組の活動予定・スケジュール

2019年8月～	店舗にて市の情報コーナー設置
2019年9月～	市営バスあさびー号回数券取り扱い開始
2019年10月18日	市職員向けSDG s 研修(イトーヨーカ堂職員講師)
2019年10月28日	フレイル予防健康ミニ講座
2020年2月6日、7日	脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」の実施
2020年2月13日	あさびー福祉市場開催

7.関連するゴール



8.取組イメージ

・イトーヨーカ堂尾張旭店 1 階に「出会いの広場」を設置（常設）
ここでは、尾張旭市の情報を発信するとともに、高齢者支援・健康づくり等の各種のイベント会場として活用し、市民が集い、賑わい、交流する新たな拠点とする。



関連URL

官民連携いなべSDGs懇談会

主催：三重県いなべ市

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

官民連携でSDGsを推進するにあたり、いなべ市の将来を担う選抜された若手職員と市内の企業や市民活動団体、農業従事者、商工会、J A、金融機関、社会福祉協議会等のメンバーが交流し、現状の取り組みの確認と将来どんなことを協働でできるかを話し合う。

3.活動開始時期

設置時期：2019年2月18日

4.取組規模(会員数)

17団体

5.取組の詳細

主催は、いなべ市。(事務局は企画部政策課)
市役所内の全部署の若手職員から、SDGs推進のためのメンバーを選抜し、そのメンバーがホストとなって、環境、社会、経済の三側面に連動する民間企業や団体と意見交換・ヒアリングを実施しました。

参加した民間企業や団体は、市がピックアップした市民活動団体、農業従事者、商工会、J A、金融機関、社会福祉協議会等のメンバー17団体24人です。

懇談会では、まず、いなべ市自体がSDGsについてこれまでどんな活動をして、どんな将来ビジョンを構築したいか、素案を発表。それを受けて、参加者にご意見を伺い、どうすれば一緒に持続可能な事業を展開していけるかを話し合いました。

いなべ市では、放棄されている森林をベースに、牧場などの拠点を置いて里として活用し、資源を循環して有効活用できるモデル事業に持っていきたいと考えています。

6.取組の活動予定・スケジュール

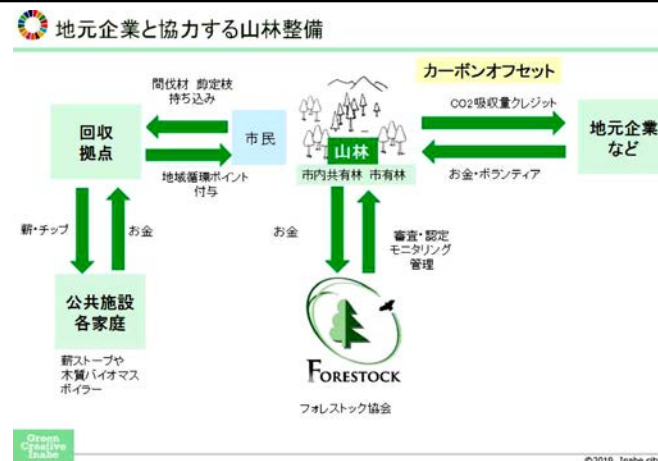
今年度内に、懇談会を開いてSDGsの未来構想をより具現化していきたい。

7.関連するゴール



8.取組イメージ

モデル事業イメージ



懇談会の様子



関連URL

滋賀×SDGs交流会

主催：滋賀県

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○ V	その他

2.取組目的・概要

持続可能な社会づくりに向けた新たな実践の創出や実践者のパートナーシップの拡大を目的に、一般県民、企業担当者、学生、市民団体活動家などが対象。実践事例等の基調講演のほか、同じような社会課題を抱える参加者同士のグループディスカッションを実施している。

3.活動開始時期

平成30年（2018年）11月

4.取組規模（会員数）

会員組織化していない。
毎回、開催時に一般募集を行い、40～50名が参加

5.取組の詳細

【活動内容】実践事例等の基調講演のほか、同じような社会課題を抱える参加者同士のグループディスカッションなどを実施
【参加者】一般県民、企業担当者、学生、NPO等
【開催頻度】四半期に1回程度
【募集定員】50名 【参加費】無料
【その他】県内の一部の市町や企業から協力を得て運営

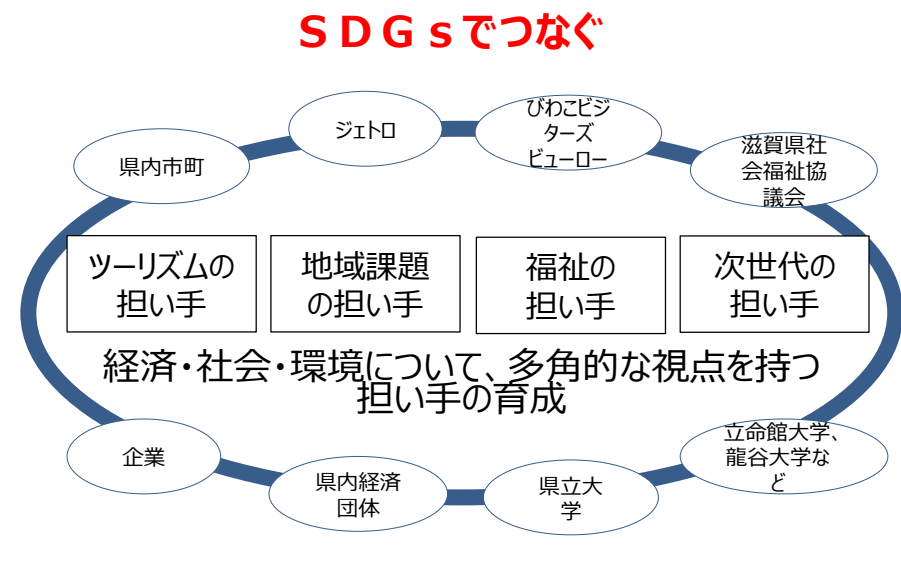
6.取組の活動予定・スケジュール

次回開催は令和2年3月頃を予定
（令和元年秋は、SDGsの特徴を生かした基本構想に関するタウンミーティングを実施）

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/gaiyou/sdgs/300677.html>
<https://www.facebook.com/sigasdgskoryukai/>

滋賀SDGs×イノベーションハブ

主催：滋賀県

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
○ III	拠点の設置
IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

滋賀の社会的課題の解決につながるイノベーションを創出するとともに、新たなビジネスモデルを構築する「滋賀SDGs×イノベーションハブ」を産官金で設置し、SDGsの理念を踏まえたビジネスモデルの創出に取り組む。

3.活動開始時期

平成30年（2018年）10月
※ 令和3年（2021年）3月までの予定

4.取組規模（会員数）

会員組織化していない。
ビジネスの創出を考えている企業等を支援。

5.取組の詳細

【具体的な役割】

- ①アウトサイド・イン（社会基点）のビジネスアプローチの実践をサポート
- ②SDGsに通じる社会的課題の解決と企業の強みを活かしたイノベーションをサポート
- ③SDGsの普及・人材育成・情報蓄積・交流・連携の場づくり

【事業実施イメージ】

- ①SDGsに関するセミナーの開催
- ②社会的課題解決に向けた新規事業開発ワークショップの開催
- ③個別分野の研究会等の開催
- ④企業への積極的な訪問、社会的課題の発掘等を通じて案件組成に取り組み、ビジネスモデルの創出を目指す。

6.取組の活動予定・スケジュール

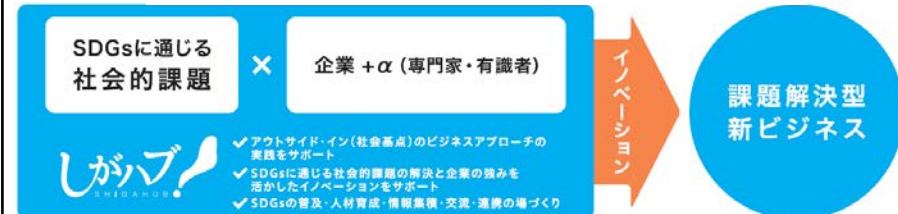
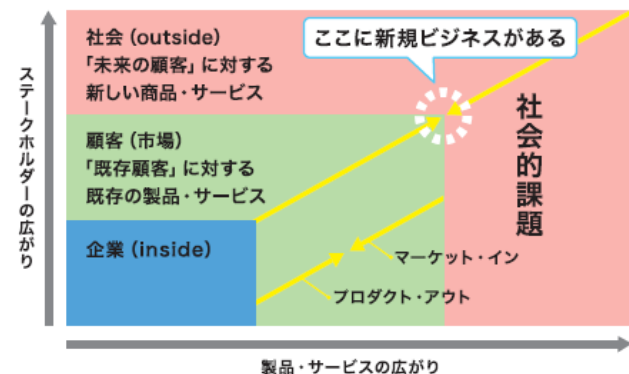
滋賀経済同友会が「滋賀SDGs×イノベーションハブ支援部会」を設置し、同部会とも連携して事業を進めている。
その他、企業のSDGs宣言のサポートを行っている。
今後とも、企業・大学・地域等をつなぎ、社会的課題の解決につながるビジネスモデルの創出をサポートする。

7.関連するゴール



8.取組イメージ

【アウトサイド・インのビジネスアプローチ】



関連URL

<https://s-sdgs-ih.jp>

ひがしなり企業区民連携フォーラム

主催：大阪市東成区

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

東成区は戦前から続く機械製造業を中心とした製造業者が多く、日本有数の集積地となっている。これらの企業は歴史的な経緯から地域社会とのつながりが強く、持続可能な社会づくりの担い手としてSDGsへの貢献ポテンシャルが大きい。一方で自らのリソースをSDGsに生かすノウハウが不足している。同事業では、中小企業が、企業相互や地域住民との連携により自律的にSDGsに取り組むことができる体制を構築するためのセミナーやワークショップを実施し、企業のSDGs対応能力を高める。

3.活動開始時期

設置時期：平成30年4月

4.取組規模(会員数)

参加企業数：20社以上

5.取組の詳細

○運営者：大阪市東成区役所及び参加企業等

○参加者の概要：地域との連携や、SDGsへの貢献等のCSR/CSV活動に意欲的な企業やNPO法人等

○取組内容

地域団体等との情報交換及び「SDGs推進力」の向上に資するためのセミナーやワークショップを実施（「ひがしなりソケットLAB.」）、またそのアウトプットとして、企業等が自らのリソースで実施するプロジェクトを支援する。

○目指している成果

企業等がSDGsへの取り組みを通じて自らの社会的価値を向上させることで、当区企業全体のブランディングに繋がるとともに、当区における持続可能なまちづくりに資するものとなること。

6.取組の活動予定・スケジュール

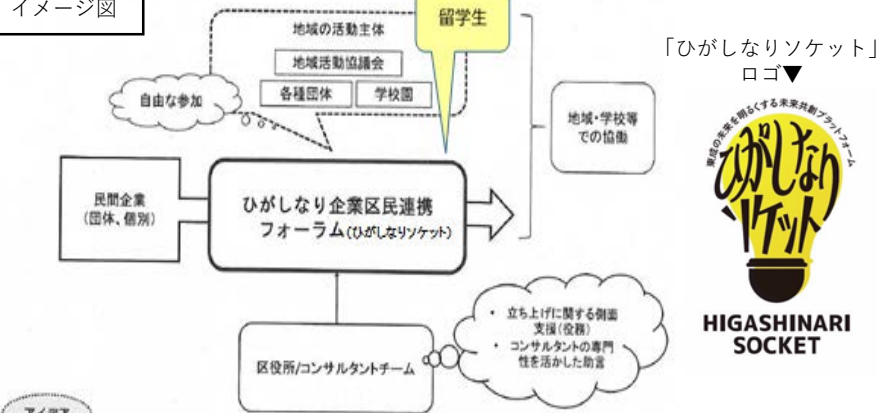
令和元年10月17日 「ひがしなりソケットLAB.」第2回
令和元年11月14日 「ひがしなりソケットLAB.」第3回
令和元年12月5日 「ひがしなりソケットLAB.」第4回
令和2年1月23日 「ひがしなりソケットLAB.」第5回
令和2年2月8日 「ひがしなりソケットLAB.」成果発表会

7.関連するゴール



8.取組イメージ

フォーラム
イメージ図



令和元年6月23日「KICK OFF!
ひがしなりソケット」の様子 ▶



関連URL

<https://higashinari-socket.com/#about>

(HP「ひがしなりソケット」)

「富田林版SDGs取組方針」の策定

主催：富田林市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○ V	その他

2.取組目的・概要

本市独自の取組方針を庁内外に発信・共有し、市域全体でSDGsの理念等に関する関心を高めていくことで、市民や団体、民間企業等、多様なステークホルダーとの連携・協働によるまちづくりのさらなる推進につなげる。

3.活動開始時期

令和元年7月12日策定

4.取組規模 (会員数)

5.取組の詳細

基本的方向1 SDGsの理念の理解促進

- ①富田林版取組方針の策定・公表
SDGsの推進に向けた本市独自の取組方針を定め公表することで、理念の普及やステークホルダー間の意識共有につなげます。
- ②SDGsの理念の普及・啓発
市職員や市民の一人ひとりが、SDGsの理念を理解し、その普及や実現に貢献できるよう、学ぶ場の開催等に取り組みます。

基本的方向2 市政におけるSDGs要素の反映

- ①総合ビジョン・総合基本計画とSDGsの関係整理
総合基本計画の各施策とSDGsの要素を紐づけることで、SDGsの実現にも寄与しながら、市の施策を着実に進める仕組みとします。
- ②各課におけるSDGs要素の反映
各課が策定する個別計画等に、SDGsの要素を組み込むことで、各業務を通じた全庁的な推進につなげます。また、市民向け広告物等へのSDGsロゴの記載など、庁内の共通ルールを定め、市民等への理念の普及や関心を高めます。

基本的方向3 SDGsを介した様々な連携の創出

- ①SDGsを共通言語とした公民連携の推進
市政やまちづくりの各分野において、本取組方針を広く周知・共有することで、市民・企業・団体等、様々なステークホルダーとの連携を図り、地域課題等の解決に向けた取組につなげます。
- ②SDGsを共通言語としたステークホルダー間の連携促進
様々なステークホルダー間の交流や連携を促進し、新たなイノベーションや課題解決に向けた取組の創出につなげます。

6.取組の活動予定・スケジュール

取組方針に基づき、総合ビジョンに係る第2期実施計画における各施策にSDGsの17のゴールを掲載し公表することや、SDGs企業セミナーの開催、とんだばやしプラスチックごみゼロ宣言、職員のエコ通勤チャレンジ、各課窓口への掲示物の設置、SDGsの周知・啓発を行うための統一した庁内共通ルールの作成、有識者による職員研修などを実施（10月10日開催予定）している。

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://www.city.tondabayashi.lg.jp/soshiki/4/30351.html>

とっとりSDGs推進会議（官民連携プラットフォーム）

主催：鳥取県（公益財団法人とっとり県民活動活性化センター）

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

鳥取県内でSDGsの取組を広げるための情報交換や情報発信を目的とした官民連携のネットワーク。

3.活動開始時期

令和元年8月8日～

4.取組規模（会員数）

15団体・個人

5.取組の詳細

- （1）主催者 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
- （2）参加者 県内の15団体・個人
（参加資格：SDGsに取り組んでいる企業やNPO、個人の方など）
- （3）目的
鳥取県内でSDGsの取組を広げるための情報交換や情報発信を目的とした官民連携のネットワーク。
- （4）活動内容
参加者同士でSDGsに関する情報交換を行うほか、SDGsに関連した事業やイベントをホームページやフェイスブック等を通じて情報発信する。
「とっとりSDGs推進会議立ち上げ宣言」を行い、会員同士が互いに連携・協働して未来に希望が持てる持続可能な地域社会づくりに取り組んでいくことを宣言した。

6.取組の活動予定・スケジュール

- 登録団体を広げ、SDGsの取組を発信（希望に応じて、Webにリンクを貼付）
- 登録団体の定例会を兼ねて、「SDGs連続講座＆交流会」を開催（小規模で年4～6回程度を予定）
- SDGsに関するイベント等の広報と相互支援を実施

7.関連するゴール



8.取組イメージ

SDGsを推進する「ゆるやかな参加型のプラットフォーム」

とっとりSDGs推進会議

「発足会」2019年8月8日（木）とりぎん文化会館 参加約50名

鳥取県で市民、NPO、企業、行政、大学・学校等がすすめるSDGsの取組を、みんなで共有・発信しあい、**分野・組織・セクターを超えた連携・協働**を促す、ゆるやかなプラットフォーム

- ① SDGs推進に関する**情報交換・共有、学びと交流機会の拡充**
- ② SDGs推進に関する**情報収集・発信**
- ③ SDGsの目標達成に向けた**連携・協働の推進** ほか

とっとりSDGs推進会議発足会



立ち上宣言（TottoriMamas鳥取JC）

フラットな参加型プラットフォーム



事務局（公益財団法人とっとり県民活動活性化センター）

関連URL

<https://sdgsnwt.jimdofree.com/>

SDGs 達成に向けた「益田モデル」の普及

主催：島根県益田市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
○ III	拠点の設置
IV	協定締結
V	その他

2.取組目的・概要

島根県益田市が商標登録をしたテラヘルツ波を使った技術を所有する企業と連携し、その技術を使った「益田モデル」の普及と事業化に取り組み、SDGsの達成と自主財源の確保を目指す。

3.活動開始時期

- ・「益田モデル」商標登録：令和元年6月
- ・「益田モデル」普及活動：令和元年度後半

4.取組規模（会員数）

1団体

5.取組の詳細

▶「Ⅲ. 拠点の設置」：拠点の持つ機能・役割、運営方法（官民連携を生み出す）、活用イメージ、活用事例など
SDGsを推進する技術開発企業、「益田モデル」普及団体及び益田市が連携し、「益田モデル」の普及、開発に取り組み、「益田モデル」の管理運用により財源を確保する。

「益田モデル」の活用事例

- ・湖沼の水質改善事業
 - ・農産物の無化学栽培
 - ・土壌改良による松枯れ対策
 - ・海岸等の磯焼け対策 等
- により、SDGsの達成を目指す。

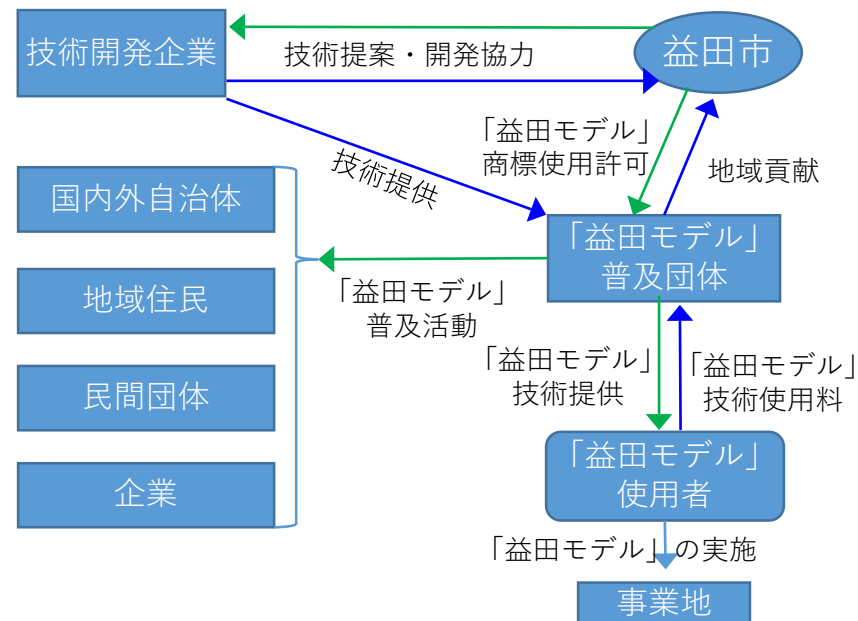
6.取組の活動予定・スケジュール

- ▶「Ⅲ. 拠点の設置」：整備、運営開始、イベント開催等の主なスケジュール
☆事業開始予定
- R1.10 「益田モデル」普及団体との協働開始
 - R1.11 拠点となる事務所等を整備
 - R1.12 普及活動開始

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://www.city.masuda.lg.jp/soshiki/178/detail-46960.html>
<https://www.santamineral.com/whatsnew>

真庭SDGsパートナー制度・真庭SDGs円卓会議

主催：真庭市

1.取組タイプ

○	I	会議体
○	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

- 真庭SDGsパートナー制度：真庭市のSDGsの取組に賛同する人、企業、団体を真庭SDGsパートナーとして登録し、SDGsパートナー宣言書の市役所ホームページへの紹介や相互リンクを行う
- 真庭SDGs円卓会議：真庭SDGsパートナーで構成し、SDGsのより一層の推進を図る組織

3.活動開始時期

真庭SDGsパートナー制度：2018年
真庭SDGs円卓会議：2019年10月

4.取組規模（会員数）

真庭SDGsパートナー
個人15名、企業・団体85
(2019年10月末日現在)

5.取組の詳細

- 真庭SDGsパートナー制度
 - ・真庭SDGs円卓会議に参加し、共にSDGsを推進
 - ・ホームページの相互リンク（企業・団体のみ）
 - ・真庭市ホームページに真庭SDGsパートナー宣言書の掲載（個人は希望者のみ）
 - ・市外企業とのパートナーシップの構築（企業版ふるさと納税の活用等）
- 真庭SDGs円卓会議
 - ・真庭SDGsパートナーの取組の情報共有
 - ・真庭SDGsパートナー相互の連携や独自の方法で、SDGsを推進・普及啓発
 - ・事務局が企画するイベントやアンケート等に負担のない範囲で参加・協力

6.取組の活動予定・スケジュール

- ・真庭SDGs円卓会議（毎年1, 2回程度）
- ・真庭SDGsパートナーの募集（随時）

7.関連するゴール



8.取組イメージ

真庭SDGs円卓会議 イメージ



- 真庭SDGs円卓会議結成大会の開催
2019年10月27日（日）
- 内容：
- ①基調講演 藻谷浩介氏
 - ②SDGs円卓会議
 - ・真庭SDGsパートナーの取組紹介
 - ・交流会

真庭ライフスタイルとは…
真庭での地域資源を生かした、
新しい価値観による生活スタイル

市民運動への拡大

SDGsの達成

II

真庭ライフスタイルの実現

関連URL

http://www.city.maniwa.lg.jp/webapps/www/info/detail_2.jsp?id=12203

宇部SDGs推進センター、宇部SDGsフレンズ

主催：宇部市

1.取組タイプ

	I	会議体
○	II	登録・認証制度
○	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

市民・企業・大学など多様な主体がSDGsをキーワードに連携し、地域における様々な課題の解決と新たな価値とサービスを創出する拠点となることを目指し、「宇部SDGs推進センター」を設置。
また、多様な主体の幅広い活動と取り組みの活性化を促進するため、自由に参加でき相互交流や情報交換を通じて連携できる場として会員登録制の「宇部SDGsフレンズ」を設立。

3.活動開始時期

宇部SDGs推進センター設置：2019年4月23日
宇部SDGsフレンズ設立：2019年6月12日

4.取組規模（会員数）

団体会員 22団体
個人会員 9人

5.取組の詳細

SDGs未来都市として、本市が取組を進める「『人財が宝』みんなでつくる宇部SDGs推進事業」の推進拠点として「宇部SDGs推進センター」を設置。市民・企業・大学など多様なステークホルダーが連携し、経済・社会・環境分野の課題解決と新たなビジネスチャンスを生み出すことでSDGs達成に向けた取り組みを加速してゆく。

[運営体制] センター長(運営・統括)、有償ボランティア(随時連携)

[主な機能] (1) SDGsに関する相談・周知啓発・セミナー開催
(2) SDGs達成に向けた取組への支援
(3) SDGs推進・活動に関する情報の集約と発信

また、SDGsに取り組む団体、個人の登録制度「宇部SDGsフレンズ」を設立。登録者はSDGsに関する様々なイベント・セミナーの情報入力に容易になるほか、他団体の取り組みについても参照が可能になる。

[実施事業] (1) ホームページ等による各種情報提供
(2) 各種セミナーやイベントの開催
(3) 会員のSDGsに貢献する活動の広報・発信
(4) その他、本会の目的を達成するために必要な活動

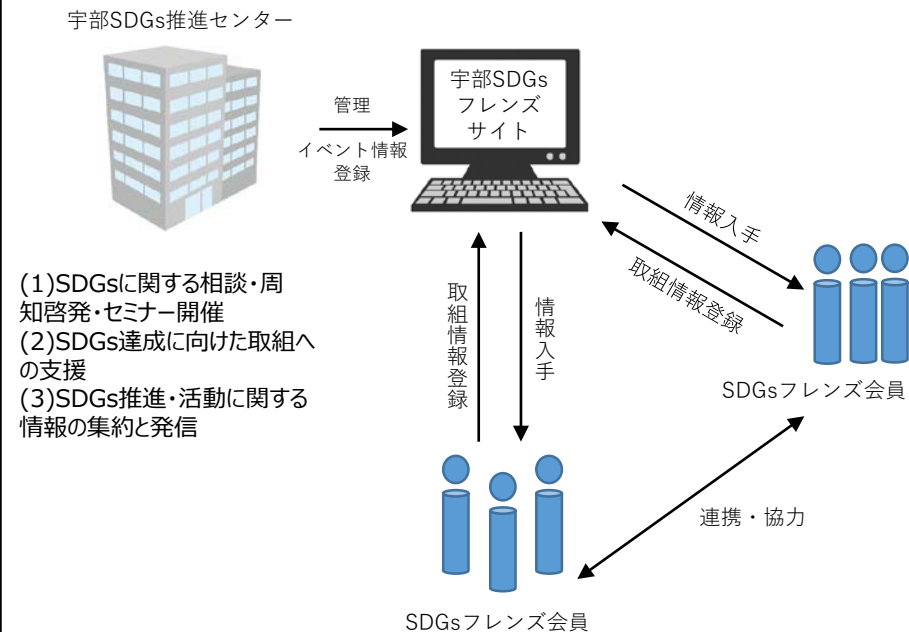
6.取組の活動予定・スケジュール

・SDGsに主体的に取り組む人材の育成に向けた、セミナー・イベントの定期開催
・宇部SDGs推進センターで開催するセミナー・イベントにおいてSDGsフレンズ間の交流を促進

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<https://www.ube-sdgs.jp/>

SDGsパネル展

主催：香川県

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○ V	その他

2.取組目的・概要

SDGsの取組みを進めるにあたっては、国や自治体だけでなく、県内企業、NPO等の様々な主体が、それぞれの立場で参画することが重要であることから、まずは、県民等にSDGsへの理解を深めてもらうことを目的として、パネル展を開催するもの。

3.活動開始時期

令和元年 5月

4.取組規模（会員数）

5.取組の詳細

共催である、独立行政法人国際協力機構 四国センター（JICA四国）から賃借したSDGsに関するパネルを、県庁のロビーにおいて2週間程度掲示し、来庁者のSDGsに関する理解の促進を図る。

6.取組の活動予定・スケジュール

同パネル展を毎年継続的に開催

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

国際協力・国際理解推進実行委員会

主催：松山市

1.取組タイプ

I	会議体
II	登録・認証制度
III	拠点の設置
IV	協定締結
○ V	その他

2.取組目的・概要

松山市とNPO法人、(公財)松山国際交流協会などが連携して「国際協力・国際理解推進実行委員会」を設立し、障がい児(者)を支援する国際協力活動を行うとともに、市内の小学校等で、この活動を題材とした国際理解教育を実施することでSDGsを推進し、持続可能なまちづくりの視点を持った人材の育成を目指します。

3.活動開始時期

令和元年7月12日

4.取組規模(会員数)

6団体
(実行員会関係団体)

5.取組の詳細

(1) 国際協力事業

フィリピン・ロドリゲス市と障がい児(者)支援に関する技術支援協力を行うため、福祉スタッフの現地派遣やフィリピン・ロドリゲス市からの研修生の受け入れを行います。

(2) 国際理解事業

市内の小学校等で、フィリピン・ロドリゲス市との国際協力の活動を題材としたSDGsの学習を実施します。また、体験学習として、フィリピン・ロドリゲス市からの研修生と市内の小学生などの交流を行います。さらに、市民が多く集まるイベントなどの機会を捉え、広く市民の皆さんへ実行委員会の取り組みを知ってもらう報告の場とします。

(3) 教材・カリキュラムの企画・調査・研究

上記(1)(2)の取り組みを題材として、SDGsの理解に役立つ教材などの開発を目的とした企画や研究を行います。

6.取組の活動予定・スケジュール

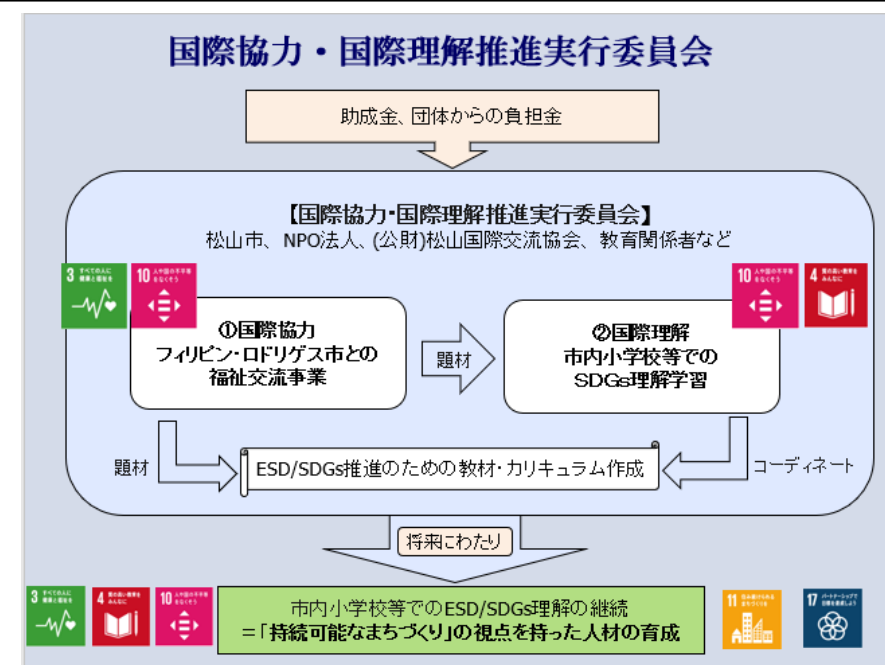
令和元年度の予定

- 7月 実行委員会設立
- 9月 フィリピン・ロドリゲス市へ専門家派遣(1回目)
- 10月 " から研修生受入
- 10月 報告会:「みんなの生活展」出展
- 1月 フィリピン・ロドリゲス市へ専門家派遣(2回目)
- 1月 報告会:「地球人まつり」出展
- 随時 学校でのSDGs理解学習

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/SDGs/matsu-torikumi/index.html>

北九州SDGsクラブ

主催：北九州市

1.取組タイプ

○	I	会議体
	II	登録・認証制度
	III	拠点の設置
	IV	協定締結
	V	その他

2.取組目的・概要

SDGsに関連する活動に取り組んでいる団体・企業・個人等が参加できるプラットフォーム（北九州SDGsクラブ）を創設し、会員同士の交流や情報交換、勉強会等を通じて、SDGs達成に向けた活動の活性化を目指していくもの。

3.活動開始時期

平成30年11月4日より

4.取組規模（会員数）

719（団体・個人）
※令和元年8月末時点

5.取組の詳細

「北九州SDGsクラブ」を創設し、団体・企業・学校など、多様なステークホルダーの交流・マッチングを促進する。

活動内容

- 会員の活動等の情報共有や交流を行う交流会の開催
- やさしくSDGsを学ぶことができる勉強会等の開催
- 特設ホームページ等による会員の活動内容等の情報発信
- 会員による先進的、モデル的な活動の表彰・PR
- クラブ会員プロジェクトチームなどを通じた、成功事例の創出など
団体、個人を問わずご参加でき、会費は無料。
参加登録申し込みは、パソコン、スマートフォン等からのほか、ファックスでも受け付けしている。

(参考)
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/02000160.html>

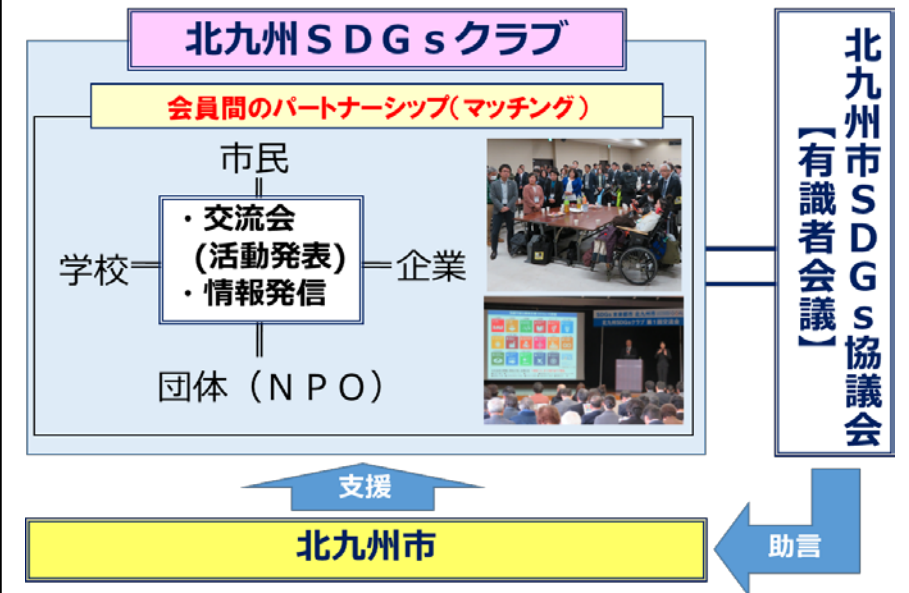
6.取組の活動予定・スケジュール

令和元年度
5月 「出前講演等リスト」への登録募集
8月 第2回交流会開催
今後の活動（予定）
・SDGs会員プロジェクトチームの活動募集
・高校生の取り組み事例発表会の開催

7.関連するゴール



8.取組イメージ



関連URL

<http://www.kitaq-sdgs.com/>